

Hello!

「経営デザインエクササイズキット」
ようこそ！

このキットには、「経営デザインシート」（内閣府）や、「デザイン経営宣言」（経済産業省）で示された考え方を活用した、あなたの事業の「これから」を考えるためのエクササイズが入っています。
あなた自身が経営者として取り組む or 従業員・支援者として従事する or あるいはこれから起業しようとする事業について、たのしみながら、やわらかい発想で考えてもらうためのキットとなっています。
営利目的の「ビジネス」だけでなく、あらゆる組織や団体の「これから」を考える際にも使っていただけます。

「経営デザイン エクササイズキット」の内容物は、以下の手順で使います。

Step

0

問診票の記入と共有

Optional: 外部の支援者やアドバイザーと一緒に考える際に活用するステップ

問診票に書かれた質問に事前に回答し、その内容を支援者・アドバイザーに共有してください。



問診票

Step

1

発想エクササイズ

キットの中には2つの視点「外」「内」に分かれた、5つの発想エクササイズボードが入っています。

各ボードに書かれたインストラクションに沿って、あなたの考えをポストイットに書き出してください。

※1ボードにつき15-30分程度をかけ、次のステップに行く前に「外」「内」の各視点1つ以上のエクササイズを実施することが望ましい。



外に
目を向ける



内に
目を向ける

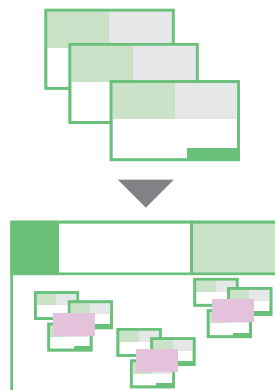
Step

2

「これから」デザイン

発想エクササイズを通じて得られた視点をもとに、今度は「未来の自社の姿（＝これから）」を描いていきます。

「自社の未来はこうなり得る」「こうなっていくべきだ」という姿について、なるべくたくさんの考えをA6サイズのこれからカードに書き出していきます。発想エクササイズで考えたことを見返しながら、まずは“質より量”で、可能な限りの枚数を書くことを意識してください。一定量のこれからカードが書き溜められてきたら、それらをA2サイズのこれからボードに並べて、グループを作っていきます。できたカードの「島」を括る名前を考え、ポストイットに書き出していきます。



Step

3

内閣府作成「経営リデザインシート」の記入

Optional: 発想エクササイズとこれからデザインが十分にできた後に進むステップ

考えてきた内容にもとづいて、事業の「これまで」と「これから」や、今後も変わらぬ「らしさ」について、方針をシートにまとめることで、より効果的にデザイン経営を行えます。



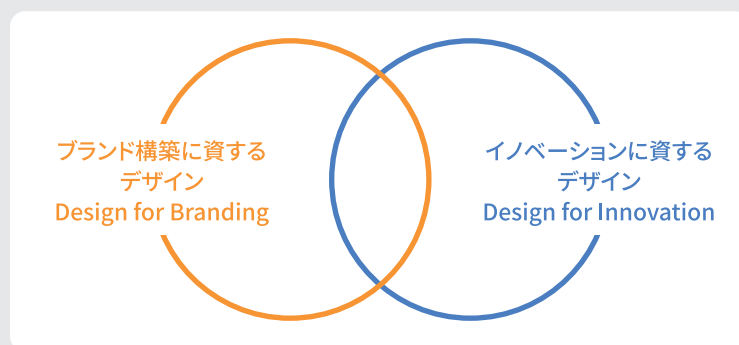
「デザイン経営」の解説

ここでは、このエクササイズキットの基となっている
「デザイン経営」の考え方について、簡単に解説していきます。

経済産業省と特許庁がまとめ、2018年に発表した「デザイン経営宣言」において、
デザイン経営は以下のように定義されています。

“ デザインを企業価値向上のための重要な経営資源として活用する経営。”

“ 事業戦略構築の最上流からデザインが関与する。”



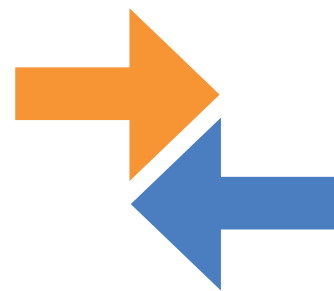
「デザイン経営」が目指す効果としては、左のように整理しており「ブランド力の向上」と「イノベーション力の向上」を通じて企業としての競争力を向上させることを目的としています。

「デザイン」が「経営」にもたらす価値として、宣言では2つの側面を取り上げています。

- ① デザインは、企業が提供したい価値を、実現・実装するための営みである。
それは、製品の外見をよくすることに留まらない。
企業活動のあらゆる面を徹底していくことで、企業は、他社に代替できない存在になる。
- ② デザインは、人々が気づかないニーズを掘り起こし、事業にしていくなみでもある。
供給側（企業側）の思い込みを排除し、世の中を観察する。
そして、「誰に向けて、何を提供するか」から着想し、既存の事業や業界の慣習にとらわれない構想を実現していく。

このようにデザインを活用した経営手法を「デザイン経営」と呼びます。

経営者視点で、企業活動の
あらゆる面をデザインする



デザイナー視点で、世の中が
必要とする事業を考える

このように「デザイン経営」は、外から見える部分からなる「狭義の（外側の）デザイン」のみを指すのではなく、事業全体をどう設計するかを含む「広義の（内側を含む）デザイン」が対象範囲となります。